

日時：2013年8月8日（木）9:00-19:00
場所：機械振興会館 6階 会議室
参加：小田切夕子（麻布大学・記録）、金子和代（早稲田大学）、渋田勝（獨協大学）、
佐藤恵（東北学院大学）、高橋泰行（大正大学）
配布資料：1. 本日のタイムテーブル

*事務連絡：報告大会（2013年12月12日（木））までのスケジュールについて

- ・9月27日 発表要旨、機器一覧
- ・11月18日 発表レジメ（様式08、配布用）
- ・12月5日 発表レジメ（発表用）
- ・会場下見 12月9日（希望者）

1. LINE に関する調査結果(発表)

各自の調査結果を基に、企業等のLINE利用（「LINE公式アカウント」及び「LINE@」）について、さらにネット調査を行いながら状況を確認した。

2. LINE 利用 によるコミュニティ形成(討議・実装実験)

- (1) 調査結果を踏まえ討議し、主として次の点を確認した。
 - ・ユーザ数の増加要因として、スマホユーザーの増加、通話無料、電話番号を軸にしたコミュニティ機能が考えられる。
 - ・高校生のスマホ所持率が増加しており、これは大学生の所持率増加、つまりは大学生のLINE利用率の増加へとつながっており、今後は大学図書館員としてもLINE利用についてのノウハウが求められることが予測される。
 - ・一般企業のOtoO（Online to Offline）に関しては、今後大学図書館にとっての広報戦略として参考になる。
- (2) iPodtouch、iPadからLINEへの登録を行い、手順、登録の注意点及びグループ作成方法を確認した。
- (3) 実際にLINEを使用して使用感を確認するとともに、コミュニティ形成ツールとしての可能性を模索した。

3. コミュニティツールとしてのLINEについて(討議)

今後コミュニティツールとしてLINEを活用していく際に、どうやって拡張するか、グループへの参加を促すかが課題となることを確認した。この点については、今後企業（LINE公式アカウント、LINE@）の集客方法を参考にさらに研究を進める。

4. 報告大会発表者について

渋田勝氏と佐藤恵氏が担当することに決定した。

*2013年12月12日（金）9:00-16:55

*会場 専修大学 生田キャンパス 9号館2階 92A会議室

*Lラ発表 15:20-16:05(予定) 45分以内（質疑応答時間を含む。）

以上